



座談会

# わたしのまつど暮らし

「まつどやさしい暮らしラボ」の女性メンバー4名から、それぞれの暮らしの中で気づいたまつど暮らしの魅力やまちのたしなみ方について、色々と教えていただきました。

「つながりが嬉しいし、ほっとする」

—篠澤さんは10年超、他のみなさんは30年超のまつど暮らしのプロですね！まつどらしさを感じるエピソードを教えてください。

石川さん そうですね、私も30年を超えたんですね笑。福島出身ですが、すっかりこちらに根を下ろした感じですよ。エピソードですよね…事務所の隣に高齢の方がお住まいなのですが、先日カプをお裾わけしたら、そのカプで作ったお新香をいただきました。ゆるやかなつながりが紡がれている感じが心地良いです。

篠澤さん 「つながり」、素敵ですよ。子どもの保育園の帰り道にあるお豆腐屋さんによく行くんですけど、たまにおばあちゃんが店番をされていて、子どものことを可愛がってくれます。おからドーナツをサービスしてくれます。

ことも。あとは、昔からあるパン屋さんも近くにあって、子どもがお店のご主人を「ジャムおじさん」だとずっと思っていて。ある日、子どもが勇気を出して聞いたら、「そっかだよ」と答えていただきました笑。「子どもが小学生になったら、通学路になります」とお伝えしたら、「任せて、見守るから」と。こういうやりとりや日常のお付き合いが嬉しいし、癒されます。

山口さん 松戸市には農家さんが多くて、自宅の近くに直売所があって珍しい野菜を買うことができるんです。農家さんに直接「どうやって食べるんですか？」と聞くと、おすすめの食べ方を教えていただけ。料理が好きなので土曜日の朝に『松戸南部市場』に行くと、顔なじみのお寿司屋さんが仕入れに来られていて、「最近、来ないですねー！」なんて言われちゃったり笑。

「まつどやさしい暮らしラボ」で活動するみなさん

**篠澤 史子**(しのざわ ふみこ)さん  
夫の転職で札幌市から松戸市へ。古民家の庭にて「おこめのいえ手創り市」を定期的で開催。5歳児を育てつつ、保育園にも勤務するワーキングママ。

**石川 静枝**(いしかわ しずえ)さん  
『NPO法人さんま』を立ち上げ、子どもの居場所づくりや子ども食堂の運営を通して、子どもたちを見守る地域づくりに尽力。

**山口 恵理子**(やまぐち えりこ)さん  
幼稚園を経営。30歳の頃に青年会議所に入り、子どもたちが幸せに成長できるまちづくりを願って多くの活動に参加。

**上條 榮子**(かみじょう えいこ)さん  
10年前にインターネットラジオ『ラジオボワロ』を立ち上げ、毎週松戸にゆかりのある方の情報を発信中。

飲食店の方も気さくな方が多くて、会話が楽しいです。

上條さん 松戸のために頑張っている農家さんが多いですよ。全国のねぎが集まる『全国ねぎサミット』が1昨年松戸で開催されて産地間交流会の司会を担当しましたが、『天切ねぎ』と『あじさいねぎ』の2ブランドは本当におすすめ。飲食店さんにご協力いただいて、コラボメニューを作っていたこともあります。農家さんも飲食店さんも、松戸を盛り上げるためならと取り組んでくださるんですよ。

—飲食店が盛り上がると、まちも元気になる感じがしますね。松戸市ならではの特色あるお店はどんなものがありますか？

上條さん 純喫茶がけっこうあるんですよ。松戸の『川名』常盤平の『珈琲園』など、雰囲気が良いんです。

山口さん 私も好きですよ。純喫茶。松戸新田の『珈琲待夢』(コーヒータイム)とか。メニューを見ると歴史を感じますね。

篠澤さん おしゃれな新しいお店も

多いけど、ベトナム料理店が増えてきたと思います。新松戸のあたりは、ベトナムやネパールの方も多く住んでいるので。一度、ベトナム食材店さんにも行ってみました。

石川さん そうですね、宗教の考え方に対応したお店も増えていそう。フィリピンや中国の方も多いですよ。けっこうインターナショナルな雰囲気なんです。

上條さん 羊のたたきを食べられるエスニック料理店もあって、美味しいですよ。あと一押しは、もつ焼き屋『かがやす』さん。都内に住む、もつ焼き好きの人を連れて言ったら絶賛していました笑。ディーブな呑み屋さんもけっこうあります。日中のまちなかの家庭的な雰囲気、夜にはガラツと印象が変わります笑。ラジオ番組の方にも、いろいろな情報が寄せられます。松戸市内の飲食店はバラエティに富んでいますよ。

山口さん ワインバルやお寿司屋さんも多い気がしますよね。何度か、上條さんとお店でお会いしましたよね笑。

—皆さん様々な活動されていますが、まちをよく知るきっかけはどんなものがありますか？

山口さん 行事やイベントはそのきっかけになったりしますよね。たとえば